



応用生態工学会ニュースレター
Ecology and Civil Engineering Society (ECES)

No.60

2013 (平成 25) 年 5 月 31 日 発行

〔発行所〕 応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL:03-5216-8401 FAX:03-5216-8520 E-mail: eces-manager@ecesj.com HP: <http://www.ecesj.com/>

〔発行者〕 応用生態工学会 (編集責任者: 幹事長 藤田光一, 事務局長 小川鶴蔵)

1	はじめに	1
2	第 17 回大阪大会開催案内	2
3	次期役員候補募集のお知らせ	9
4	2013 年海外学会派遣員の選考結果	11
5	行事開催報告	13
5.1	第 3 回 遠賀川中島自然再生研究会	13
5.2	昨年の行事	13
5.3	今年の行事予定 (5 月末現在)	14
6	事務局より	16
7	大阪大会ポスター	19

1 はじめに

2013 年度最初のニュースレターです。

今回のニュースレターでは、第 7 回大阪大会の開催案内とともに、2013 年度は 2 年に一度の役員改選期に当たりますので役員改選のご案内も掲載しています。次期役員候補・推薦委員会からの次期役員候補の募集案内を掲載しました。このほか募集していた 2013 年度海外学会派遣員の選考結果、行事開催案内などをお届けします。

新年度が始まりましたが、会員の皆様には卒業や転勤、部署の移動など会員情報に変更はありませんか。このニュースレターも Web 配信に切り替えて 2 年を経過しましたが、ペーパーレス化によって会員情報の変更手続きはいっそう大切になりました。住所、所属・勤務先、メールアドレス等の変更時には、ホームページに掲載している連絡フォームやメールでご連絡下さい。とりわけメールアドレスは会員と事務局を繋ぐ大切な情報ですので、ご注意ください。

年会費の口座自動振替についてのお願い

昨年度末から会費納入忘れの解消と、事務局事務の軽減を意図した「年会費の口座自動振替」システムを新に導入し、運用を開始しました。4 月末日現在、お申し込みいただいた個人会員は 284 名に達しましたが、これは会員総数の 3 割弱に留まっています。申込のなかった会員には例年通りの「年会費納入のお知らせ」と「払込取扱票 (振込用紙)」をお送りしておりますが、あわせて「預金口座振替依頼書」を再度同封しています。「預金口座振替」がご利用出来ない特段の事情のある会員については口座振替を引き続き利用できますが、そうでない方は、学会運営の持続性確保のため、

預金口座振替の申し込みを是非ともお願いします。

さて、この運用を開始したことで、従来から会費納入に利用していた郵便局の「払込取扱票（振込用紙）」で、ご所属などご登録頂いていた情報の手書きでの修正申告や、会費が英文誌 LEE 購読料か、何年度分年会費なのか、などの情報を併せてご記入頂けておりましたが、新たな「年会費の口座自動振替」システムではご所属などご登録頂いておりました情報の手書きでの修正のご申告は出来なくなりましたので、これから会員情報の更新はいっそう重要になりました。また、「年会費の口座自動振替」依頼書を出したのに、引き落としがされていないという問い合わせも寄せられています。新しいシステムをうまく使いこなすための習熟、工夫が必要なことも分かってきました。ご不便もおかけしておりますが、順次解消いたします。

どうかお気づきのことをお知らせください。

2 第 17 回大阪大会開催案内

応用生態工学会 第 17 回大会開催案内（大阪大会）

2013 年（平成 25 年）9 月 18 日（水）～9 月 21 日（土）

第 17 回総会・研究発表会・自由集会・分科会（特定テーマ・セッション）・公開シンポジウム・エクスカージョン

応用生態工学会では、2013 年（平成 25 年）9 月 18 日（水）～9 月 21 日（土）に大阪府大阪市にて、第 17 回大会を開催します。

本大会実施に向け、大会参加と研究発表の受付を開始しました。研究発表では、研究成果の報告だけでなく、現場で抱えている課題や問題提起、プロジェクト提案等を自由に発表できます。また、今大会ではテーマを絞って議論ができるよう、従来の口頭発表に加えテーマを特定した分科会や自由集会を準備したいと考えています。議論したいテーマをお持ちの方からのユニークな分科会・自由集会の企画・提案を期待するとともに、多くの会員の皆様の発表参加をお待ちしております。

9 月 21 日（土）には、公開シンポジウム『都市河川の自然再生と防災を考える』を開催します。特別講演として、都市河川の環境全般についての造詣が深く、韓国を代表する都市河川漢江をフィールドに、河川底生動物の立場から自然再生への提言やモニタリングを実施されてきた、アジアベントス学会の事務局長である Bae, YeonJae 教授（高麗大学、韓国）をお招きし、「清溪河での自然再生事業とその後の展開」について講演頂き、国内の研究者・技術者との活発な意見交換を行えるシンポジウムとしたいと考えています。このシンポジウムは河川整備基金の助成を受けて実施し、一般にも公開します。

大会初日の 9 月 18 日（水）には、淀川や大川での自然再生の現場・防災施設などを見学し、都市河川の自然再生と防災について考えるエクスカージョンを行います。

なお、本大会は、土木学会継続教育（CPD）プログラム認定に申請中です。

1. 大会概要

【日程】

第 1 日目 9 月 18 日（水）：エクスカージョン

第4日目 9月21日(土)：午前：役員会・総会等，午後：公開シンポジウム

—スケジュールは、変更することがあります。詳細なスケジュールは、ホームページ（8月5日予定）、ニュースレター（No.61 発行）でご案内します。—

【会場】

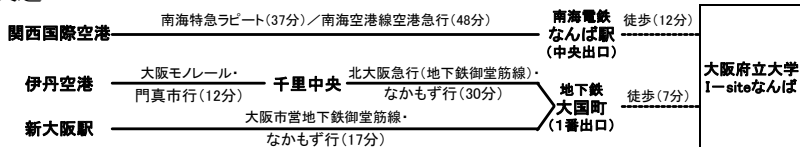
研究発表・総会・公開シンポジウム: **大阪府立大学 I-site なんば**

住所: 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル

電話:06-7656-0441(代表)

URL: <http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/index.html>

交通:



2. 公開シンポジウム

【テーマ】

都市河川の自然再生と防災を考える

【企画のねらい】

水都と呼ばれる多くの都市は、河川とのかかわりの中で、固有の特色ある地史・歴史・文化を育み、河川の自然環境との共存を果たしてきました。しかし、近代から現代の流域開発や河川改修によって、都市河川の自然環境は、劣化の一途をたどりました。その反省のもと、韓国では清溪河、日本では淀川や多摩川で、自然再生事業が精力的に試みられてきました。一方、河口デルタに成立している都市は洪水・高潮・津波に弱く、東日本大震災では大きな被害を受けました。今後、東海・南海・東南海地震による大規模な被害が予測される太平洋沿岸域では、防災と自然環境の保全・再生を両立させる科学技術の確立が急務となっています。本シンポジウムでは、この両立をめざした課題整理と政策提言を目指します。

【プログラム(案)】

13:00 あいさつ 池淵 周一実行委員長

13:10 基調講演「清溪河の自然再生事業とその後」 Bae, YeonIae (高麗大学教授, 韓国)

14:10 パネルディスカッション

コーディネーター:綾 史郎(大阪工業大学教授)

パネリスト: Bae, YeonJae (高麗大学教授, 韓国)

(話題提供) 田中 仁(東北大学教授)「津波による河川災害と環境の回復過程」

田井中 靖久(淀川河川事務所長)「淀川における自然再生の取り組み」

増田 昇(大阪府立大学教授)「水都大阪の景観」

竹門 康弘(京都大学准教授)「流域スケールの自然再生」

島谷 幸宏(九州大学教授)「自然再生と防災を両立させる政策提言の必要性」

16:00 終了予定

3. 研究発表募集

応用生態工学会大会における研究発表の受付を開始します。発表方法は、「ポスター発表」と「口頭発表」とします。下記要領に基づき応募して下さい。

〔1〕研究発表内容

応募できる研究発表の内容は、応用生態工学に関する研究や事例の報告およびその他です。発表の内容が、現場のさまざまな事業・活動にどのように応用できる知見であるかに触れていただければ、研究報告が予報的な内容であってもかまいません。

〔2〕発表方法

応募に当たっては、「ポスター発表」か「口頭発表」のいずれを希望するか明記して下さい。応募状況によっては、実行委員会では変更をお願いする場合があります。

〔3〕発表時間

口頭発表の発表時間は、1 課題当たり 15 分(発表 12 分、討論 3 分) 程度で、申込数により決定します。

〔4〕研究発表申込 6 月 30 日（日）17:00 までを厳守して下さい。

研究発表を申し込まれる方は、電子メールに下記の申込記入事項を記載し、申込先のメールアドレス宛ててお送り下さい。

研究発表申込先：osaka_17th@ecesj.com

<申込記入事項>

1. 発表者名および連名者名と各々の所属（会員番号）
（会員番号：連名者が非会員である場合、番号は不要）
2. 研究発表題目
3. 連絡先（〒、住所、氏名、TEL、FAX、E-mail）
4. 研究発表概要（和文 200 字程度）
5. 希望する発表形態（「ポスター発表」または「口頭発表」）
6. 研究報告、事例報告、その他の別
7. キーワード（調査地域・調査対象を含め 5 つ程度）

[調査地域（例）]

河川、湖沼、ダム貯水池、汽水域、海域、森林、水田、畑地、道路、都市、農村等

[調査対象（例）]

生態系・景観、陸上植物、陸上動物、水生植物、底生動物、プランクトン、鳥類、魚類等

（なお、東日本大震災など大規模災害からの復旧・復興と自然環境保全・再生を取り上げた研究発表を申し込まれる場合には、その趣旨をキーワードにも入れていただくようお願いします。）

なお、提出いただいた概要をもとに発表の振り分けを開始いたしますので、簡潔かつ具体的な研究内容を可能な限り明示して下さい。

後日、事務局より受付および「ポスター発表」か「口頭発表」の確認連絡をいたします。

〔5〕研究発表要旨の原稿の提出は 7 月 19 日（金）17:00 までを厳守して下さい。

研究発表者（口頭発表およびポスター発表いずれも同じ）は、研究発表要旨原稿（A4 版 2 枚 or 4 枚）を期日までに事務局へ提出して下さい。原稿は下記の要領に従って作成して下さい。

なお、ポスター作成要領、口頭発表要領および関連スケジュールを 8 月 5 日（月）に応用生態工学会ホームページにアップロードする予定です。

＜研究発表要旨原稿作成要領＞

研究発表要旨については査読を行いません。要旨集にもその旨を記載いたします。

- ・ A4 版用紙、縦位置、2 枚または 4 枚。
- ・ 左右 15mm 以上、上下 18mm 以上の余白。
- ・ 横一段組み、中央に「講演題目」を和文にて、14 ポイント程度の文字、2 行以内で記入。
- ・ 題目の下 1 行空け右寄せで「講演者名、連名者名、各々の所属」を、12 ポイント程度の文字で記入。
- ・ 本文は、10.5 ポイント・明朝。
- ・ 原稿はそのまま印刷できるイメージの PDF ファイルとして作成し、E-mail に添付して osaka_17th@eces.j.com 宛にお送り下さい。なお、印刷はモノクロです。

〔6〕研究発表者資格

研究発表者は、応用生態工学会の正会員、学生会員および賛助会員法人に所属する個人とします。なお、連名者については会員・非会員を問いません。但し、研究発表者が学生の場合、連名者に会員がいれば可とします。

〔7〕発表賞

ポスター発表、口頭発表のそれぞれを対象とします。

Call for Presentations

Submission of presentations is now open for the 17th Annual Meeting of the Ecology and Civil Engineering Society (ECES) in Osaka. Categories of presentations are either research reports, case studies or other topics in the field of ecology and civil engineering. Two types of presentation, poster or oral, are acceptable in English along with Japanese. Please submit your presentation in line with the following guidelines.

[1] Topics

Acceptable presentations should be research reports and case studies on topics in relation to ecology and civil engineering. Preliminary research reports will be also acceptable, if they are applicable to various fields of ecology and civil engineering.

[2] Presentation types

Please notify your preferred presentation type (poster or oral) in your submission. Note that we might ask you to change your presentation type (poster or oral).

[3] Duration of oral presentation

Each oral presentation would be ca. 15 minutes long (12 minutes for presentation followed by a 3-minute discussion period).

[4] Deadline of application: 17:00 (JST) , June 30 (Sun), 2013

If you wish to give a poster or oral presentation in English, please send your application to Ecology and Civil Engineering Society (osaka_17th@ecesj.com) by e-mail with the following items.

〈Required items on the application form〉

1. Full name of a presenter, his or her professional affiliation and membership number. If the presenter has co-authors, full names of all co-authors, their professional affiliations and membership numbers (if they have) should also be written.
2. Title of presentation
3. Contact address of a presenter:
Postal and e-mail addresses, tel. & fax. numbers
4. Summary of presentation in 7 lines or 150 words
5. Preferred type of presentation (poster or oral)
6. Category of presentation (research report, case study, or other topics)
7. Keywords (about 5 words relating to study sites and materials as listed below)

Study sites: Rivers, lakes, reservoirs, brackish waters, seas, forests, paddy fields, dry farmlands, roads, urban areas, rural areas, etc.

Materials: Ecosystem and landscape, terrestrial plants, terrestrial animals, aquatic plants, plankton, benthic animals (invertebrates), birds, fishes, etc.

*When you submit a presentation related to the recovery from severe natural disaster such as the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake in accord with natural environment conservation or restoration, please include relevant words among the keywords.

Presentations will be sorted into designated sessions based on the contents of submitted summaries. The summary should be made brief and specific for the purpose. The notification of acceptance and the designated presentation type (poster or oral) will be informed by the secretariat of ECES later.

[5] Deadline for abstract submission: 17:00 (JST) , July 19 (Fri), 2013

For each presentation (oral or poster), abstract should be submitted to the secretariat of ECES by the deadline. The manuscript should be prepared in line with the following instructions.

Further instructions for the presenters such as instruction for preparing poster and the presentation schedule will be uploaded to the web site of ECES on August 5 (Mon), 2013.

〈Instructions for presentation abstracts〉

Abstracts will not be peer-reviewed.

- Please use 2 or 4 sheets of A4 paper.
- Right and left margins should be more than 15 mm, and top and bottom margins should be more than 18 mm.

- The title of your presentation should be one column and centered. The length of the title should be within 2 lines and the font size should be in 14 points.
- Full names of the presenter and co-authors with their affiliations should be inserted right-aligned after inserting one blank column below the presentation title. The font size should be in 12 points.
- The main text should be in 10.5 points. The font should be representative Roman such as Times New Roman.
- Please submit a camera-ready manuscript which includes figures and tables. Please send a PDF of the manuscript as an e-mail attachment to osaka_17th@ecesj.com. The Printing of manuscript letters should be in black.

[6] Qualification of presenters

Presenters at oral sessions and a main contributor at poster sessions should be the ordinary member, student member or any people belonging to the supporting member company of the ECES (co-authors need not be ECES members). However, presentations by students who are not ECES members are also acceptable if at least one of their co-authors is an ECES member.

[7] Presentation awards

The Ecology and Civil Engineering Society (ECES) confers "Presentation Awards" at the Annual Meeting to excellent posters and oral presentations.

4. 分科会・自由集会企画募集！

今大会ではテーマを絞って議論を深めるために、分科会や自由集会を開催できる小会場を複数確保しています。議論したいテーマをお持ちの方は積極的にお申し出ください。なお、会場数及び開催時間帯は限られていますので、どうかお早くご連絡いただき（6月30日（日）まで）、ご相談ください。

(連絡先) E-mail: osaka_17th@ecesj.com

5. エクスカーション

〔1〕日 時・コース

9月18日（水）

①バスコース【淀川・大川コース】

11:00 新大阪駅発 17:00 大阪府津波高潮ステーション解散

※②船コース参加者は、16:00 八軒家浜船着場で乗り換え

②船コース【大川クルーズコース】

16:00 八軒屋浜船着場発 18:00 湊町船着場解散

※各コースとも定員は40名で先着順とします。

〔2〕主な訪問先

①バスコース：淀川の干潟や淀川大堰、城北ワンド群、大川の大阪ふれあいの水辺（毛馬桜之宮公園）、大阪府津波高潮ステーション。

②船コース：大川や道頓堀川、河口部の防潮水門などを船でめぐる。

6. 懇親会

懇親会は、第3日目9月20日（金）の研究発表（口頭）、分科会、自由集会の後、場所を移動せずに同会場で行いま

す。大阪と言えば...？、本場の食材をとり揃えております。また毎回好評の「全国からうまいものを持ち寄る普及連携委員会」コーナーも充実しておりますので、ぜひご参加ください。

7. 参加料

〔1〕研究発表会

会員：6,000 円, 非会員：10,000 円, 学生(会員・非会員)3,000 円。

参加料には講演要旨集が含まれておりますが、講演要旨集のみ希望の方は、3,000 円(送料 210 円もご負担ください)で販売しております。

※会場内に食堂等はありません。別途 1,000 円でお弁当が用意できます。参加申込みと同時に申し込みください。

〔2〕エクスカーショ

①バスコース 会員：3,000 円, 非会員：4,500 円, 学生(会員・非会員)：1,500 円(昼食代含む)。

②船コース 会員：3,000 円, 非会員：4,500 円, 学生(会員・非会員)：1,500 円。

※①、②コースの両方に参加される場合は各コースの参加料の合算となります。

〔3〕懇親会

一律：5,000 円。

8. 参加申込み方法

学会のホームページの専用フォームやチラシ(6月上旬配信予定)よりお申込み下さい。

詳細なスケジュールは、次号(No. 61 8月5日予定)ニュースレターやホームページでご案内いたします。

9. お問い合わせ先

応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL : .03-5216-8401 FAX : 03-5216-8520

E-mail : osaka_17th@ecesj.com

3 次期役員候補募集のお知らせ

次期役員募集・推薦委員会

委員長：近藤徹会長

委員：廣瀬元会長，山岸前会長

今年度は役員改選期にあたります。本委員会は本年2月7日の第63回理事会で設置されたのを受け、委員間で協議を行い、以下の要領で次期役員の募集を行うことといたしました。会員の皆様におかれましては、以下の要領で候補者の届出をしていただくようお願いいたします。

なお、本委員会の規程（次期役員募集・推薦委員会規程）は、第48回理事会で了承されたのち、本規程は、平成21年5月11日より施行する。

本規程は、平成21年8月27日改正し、2009年8月27日から施行されています。

【届出を受け付ける役員】

会長（1名）および副会長（3名以内）、
理事（15名以内）、監事（2名）

※役員選出に関連する学会規約第9, 10, 11, 13, 14条をご確認ください。

また、幹事については、学会規約第12条のとおり理事会により候補が推薦されます。

【届出の方法】

自薦・他薦を問いません。会長及び副会長については、それぞれの候補者名に正会員5名以上の推薦人の名簿を添えて、学会事務局まで郵送にて届け出てください。

【受付期間】

2013年6月1日から6月30日までの1ヶ月間

【届出の様式】

学会ホームページ掲載の所定の様式（上記期間中掲載）を用いてください。

【今後の役員選出の流れ】

- (1) 第2回委員会の開催
 - ・候補者の届出や推薦人名簿の確認などを行い、候補者が定員に満たない場合などは、候補者の推薦を行います。
- (2) 候補者の周知と投票
 - ・候補者の周知・投票については、「次期役員募集・推薦委員会規程」の[5] 周知・投票に関する調整をご覧ください。
- (3) 総会での選出

- ・学会規約に基づき、会長、副会長、理事、並びに監事は、総会における投票(委任状も含む)により選出されます。

【規程】

次期役員募集・推薦委員会 規程

[1] 目的

本委員会は、学会規約に基づく次期役員の選出を円滑に行うために設置し、立候補者の募集・受付、候補者の推薦、周知など、次期役員候補の推薦までの手続きを調整する。

[2] 設置と構成

本委員会は、役員改選年ごとに設置し、当該年の総会終了後に解散する。委員長（1名）及び委員（2名以上）は、理事会が指名する会員で構成する。

[3] 立候補者の募集・受付

本委員会が立候補を募る役員は、会長、副会長、理事、監事とする。なお、立候補者の募集・受付の基本的な要領は以下のとおりとし、募集案内や日程等を会員に周知するものとする。

- ・役員候補者は正会員とする。ただし、学会規約第10条及び第13条により、会長、副会長及び監事はこの限りではない。
- ・候補者は、自薦・他薦を問わない。
- ・会長及び副会長については、それぞれの候補者名に正会員5名以上の推薦人の名簿を添えて学会事務局に届ける。
- ・候補者の募集・受付期間は、役員改選年の総会の4ヶ月前～3ヶ月前を基本とする。

[4] 候補者の推薦

本委員会は、候補者の募集期間中に候補者が定員に満たない場合などは、候補者の募集・受付期間経過後に候補者の推薦を行う。

[5] 周知・投票に関する調整

本委員会は、学会事務局が実施する以下の活動の調整を行う。

- ・学会事務局は、立候補者の募集・受付の要領や推薦人名簿の様式等の必要な書類の周知を、学会ニュースレター及び学会のホームページへの掲載等によって行う。
- ・学会事務局は、立候補者もしくは推薦された次期役員候補者を、総会までに学会ニュースレター及び学会のホームページへの掲載等によって会員に周知する。
- ・学会事務局は、総会において次期役員選出のための投票結果をとりまとめる。なお、やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員については、あらかじめ通知された次期役員候補者について投票し、または他の正会員を代理人として評決を委任することができる。

[6] 総会における報告

本委員会は、学会規約第10条、第11条、第13条、及び第14条に基づく総会での役員の選出が円滑に行われるよう、総会において以下に示す報告等を行う。

- ・次期役員候補者の募集・推薦等の経過の報告

[7] 付則

本規程は、平成21年5月11日より施行する。

本規程は、平成21年8月27日改正し、施行する。

【届出書送付先】

応用生態工学会 事務局 事務局長：小川 鶴蔵
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室
TEL.03-5216-8401 FAX.03-5216-8520

4 2013 年度 海外学会派遣研究者・技術者の審査結果報告

国際交流委員会 委員長 五味高志

1, 委員会では 2013 年度 海外学会派遣研究者・技術者に、東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻 博士後期課程 梁 政寛さんを選考し、このほど理事会で決定した。

2, 国際交流委員会(委員長 五味高志)では、2013 年度 海外学会派遣研究者・技術者の募集(1 名)を行った。2 月 18 日から 4 月 19 日を募集期間として学会ホームページやニュースレターによる周知を行った結果、2 名の応募があった。

3, 委員会では、応募 2 名の応募資格、申請内容、(発表内容、申請理由等)を審査し、申請書類の内容の的確さ、明瞭な目的などを考慮し、2013 年派遣者は下記の者とした。派遣先としては、韓国であることから、旅費としては、国内レベルに収まる可能性があるものの、学会としては、国際的な視点での情報収集および意見交換が可能であり、学会の内容も応用生態工学会と関連もある。申請書の明瞭さ、目的の的確性から、得られる成果も期待できると判断した。

今後は、学会出席および発表による報告(ニュースレター)については、応用生態工学会の会員含めて、その興味を共有できるものを期待するとともに、学会発表に関連する論文などは、応用生態工学会の学会誌もしくは国際誌に投稿することを期待するものとする。

2013 年度 海外学会派遣申請書

氏 名	梁 政寛
所 属	東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻 博士後期課程
派遣希望学会	・学会名： The Sixth Conference of The Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources (第 6 回 アジア太平洋水文水資源国際会議) ・主催者： Prof. Joong Hoon Kim, School of Civil, Environmental and Architectural Engineering, Korea University ・開催月日： 8 月 19-21 日

・開催地: 韓国・ソウル ・目的・内容 水文及び水資源に関連する研究を幅広く議題とする.その中でも,気候変動と水安全保障・持続可能性を考慮した水文・水資源管理・水災害・水政策などを主なトピックとする. ・申込期限: 7 月 15 日 ・参加費: 300USD(約 30,000 円,4 月 18 日現在) ・発表: 行う(すでに概要は提出済み) - 題目: Relation of flow regime to population density of riverine fish species at basin scale (流域規模における河川魚類種数の個体数密度と流量特性の関係) - 著者: 梁政寛,Pengzhe, Sui,岩崎明希人,Oliver Saavedra,吉村千洋 ・現地見学会: あり ・学会誌への投稿予定: 有り

3, 助成金額

助成金額は上限を 15 万円とし,実費精算額を支給する. 要請によって,前払い金を支給する.

以上

5 行事開催報告

5.1 第3回 遠賀川中島自然再生研究会開催のお知らせ

九州北部に位置する遠賀川の中島では、自然再生事業により、湿地の再生等が実施されています。

応用生態工学会福岡では、平成23年度から「遠賀川中島自然再生研究会」を立ち上げ、国土交通省遠賀川河川事務所より中島を研究フィールドとして提供頂き、応用生態工学的な研究を進めています。

これまでの研究・活動成果と今年度の計画を発表し、ディスカッションする研究会を以下の日程で実施いたします。

どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。

資料の準備の都合がありますので、事前に参加申込みをお願いします。

また研究活動への参加も募集しています。研究機関に限らず、コンサルタント、学生でも歓迎いたします。研究への参加希望者は、詳しい資料（図面など）をお送りしますので、事務局までご連絡ください。

日 時：平成25年6月14日（金） 14時～

場 所：遠賀川水辺館2F（遠賀川河川事務所の隣（福岡県直方市溝堀1-1-1））

参加費：無料

申込み：氏名・所属・連絡先（電話番号・メールアドレス）をご記入の上、メール・FAXにて事前にお申込みください（〆切：6月12日）

連絡先：応用生態工学会福岡 事務局 酒井（西日本技術開発（株）環境部内）

TEL：092-781-2625 FAX：092-726-4880 Email：n-sakai@wjec.co.jp

5.2 昨年の行事

4.1	2012 年度（平成 24 年度）開始
2.29～4.20	海外学会派遣研究者の公募、1 名応募
5.4	応用生態工学会会誌編集委員会（麹町：応用生態工学会事務所）
5.16～20	第 52 回幹事会（メール会議）
5.25	第 2 回遠賀川中島自然再生研究会 in 福岡 開催（福岡県中間市中島）
5.28	ニュースレター 56 号 発行
6.7	第 61 回理事会 開催（水道橋 貸し会議室「内海」3F）
6.8	応用生態工学におけるテキスト刊行に関するワークショップ（千代田区内）
7.13	応用生態工学会東京セミナー「河川生態系の多様性と管理」（さいたま市）
7.13～14	応用生態工学会那覇：全国フィールドツアー in 沖縄

	沖縄における河川の自然再生とワイズユース (浦添市等)
7.	会誌「応用生態工学 Vol. 15-1」発行
8.3	第 53 回幹事会 開催 (麹町：応用生態工学会事務所)
8.9	第 62 回理事会 開催 (麹町NKビル 2 階 WEC 会議室)
8.17	ニュースレター 57 号 発行
9.8～11	三学合同大会『ELR2012 東京』開催 第 16 回総会 開催 第 54 回幹事会・第 63 回理事会合同会議 開催
11.9～10	第 11 回北陸ワークショップ in 石川 開催
11.17	応用生態工学会福井：地域勉強会 in 福井 ～第 1 回水辺の勉強会 コウノトリ が生息できる身近な環境づくりに向けて (福井県安全環境部自然環境課と共 催)
12.1	第 1 回北信越事例発表会 (富山市：富山県立大学)
12.11	ニュースレター 58 号 発行 (大会特集)
12.15	応用生態工学会福井：地域勉強会 in 福井 ～第 2 回水辺の勉強会 河川の氾濫 原環境 (福井県安全環境部自然環境課と共催) (福井：日野川)
12.31	会誌「応用生態工学 Vol. 15-2」発行
1.16	第 54 回幹事会 (麹町：応用生態工学会事務所)
1.16	震災復興ワークショップ in 仙台 , 「自然の恵みを活かす復興に向けて, 震災 後の環境対策のあり方を考える」(日本生態学会と共同主催, 日本景観生態学会, 植生学会, 日本水産学会との共催) (仙台市)
1.26	第 1 回北信越技術研究会 (富山：神通川等)
2.7	第 64 回理事会 (麹町NKビル 2 階 WEC 会議室)
2.18	ニュースレター 59 号 発行 (大会特集)
2012 年度終了	2012 年度終了

5.3 今年予定されている行事 (5 月末現在)

4.1	2012 年度 (平成 24 年度) 開始
2.17～4.19	海外学会派遣研究者の公募, 2 名応募
4.24	応用生態工学会大阪大会第 1 回実行委員会 (大阪府立大学 I-site なんば)
5 月中旬	第 1 回次期役員募集・推薦委員会
5.21	第 56 回幹事会 (麹町：応用生態工学会事務所)
5.21	応用生態工学会会誌編集委員会 (麹町：応用生態工学会事務所)

5.21	テキスト刊行委員会 (麹町：応用生態工学会事務所)
6.1	ニュースレター60号 発行
6 月中	次期役員・募集期間
6.5	第 65 回理事会 (麹町NKビル 2 階WEC会議室)
6.14	第 3 回遠賀川中島自然再生研究会 in 福岡 (福岡県中間市中島)
7. 上旬	第 2 回次期役員募集・推薦委員会 (予定)
7.	会誌「応用生態工学 Vol. 16-1」(発行予定)
8	第 57 回幹事会 (予定)
8	第 66 回理事会 (予定)
8.9	<協賛>平成25年度「瀬戸内海研究フォーラム in 山口」 協賛 (宇部市文化会館文化ホール)
8.中旬	ニュースレター61号 発行 (予定)
9.2～5	<後援> The 12th International Symposium on River Sedimentation (ISRS2013) (京都市：京都テルサ)
9.18～21	応用生態工学会大阪大会 9 月 18 日(水)： エクスカーション 9 月 19 日(木)： ポスター発表, 自由集会 9 月 20 日(金)： 口頭発表, 特別セッション, 自由集会, 懇親会 9 月 21 日(土)： 第 17 回総会, 第 67 回理事会, 第 58 回幹事会 公開シンポジウム (大阪府立大学 I-site なんば)
10 月下旬～11 月中 旬	第 12 回 北信越現地ワークショップ in 福井 (福井県 日野川流域を中心に)
12.上旬	九州地区事例発表会 in 福岡 (福岡市内で開催予定)
12.11	ニュースレター62号 発行 (予定) (大会特集)
12	会誌「応用生態工学 Vol. 16-2」(発行予定)
2.	第 68 回理事会 (予定)
2.	ニュースレター63号 発行 (予定)
2～	2014 年度海外学会派遣者募集 (予定)
2013 年度終了	2013 年度終了

6 事務局より

本ニュースレターは、学会ホームページにアップロードした PDF ファイルの URL を、登録頂い

たメールアドレスに送信していくこととなっております。

まだ、メールアドレスをご連絡頂いていない会員の方には、引き続きメールアドレスの登録をお願いいたします。経費削減対策の一つとなっておりますので、できるだけ電子配信にご協力下さい。

また、せっかく会費をお支払い頂いておりながら、アドレスエラーや転居先不明でニュースレターや学会誌が戻ってくるケースが数十件あります。転居等されましたら、新しいご連絡先をお教え下さい。

変更したメールアドレスを登録する場合は、下記の学会ホームページからお知らせ下さい。

- 会員登録情報変更連絡フォーム

<http://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

6.3 事務局長が交代しました

2013 年 4 月 1 日付で事務局長に就任しました小川鶴蔵です。2000 年の入会会員です。これまでは学会からサポートをいただいていたが、これからは学会活動のサポートを担当するメンバーの一員になります。

事務局に入って 1 ヶ月余を経過しましたが、これまでの事務運営の改良が着々となされていたことを実感しています。歴代の事務局長が努力され、積み重ねてきた事務の仕組みを使いこなすのはなかなか大変ですが、応用生態工学会設立の意義を感じている一人として努力いたします。お気づきのことなどを教えてください。

事務局の運営は、会員の皆様から見れば変化を感じさせないことを心がけますが、勤務シフトは変更しています。事務局に出勤するのは週 1 日の目標で、その他の日は事務所と同じ機能を備えた場所で勤務しています。電話も転送で受ける仕組みを使っていますので、従前と同様です（転送のための動作が数秒かかります）。ご連絡いただく際は、なるべくメールをご利用ください。記録が残るメリットがあり、正確に情報が伝わり紛れがありません。

新体制が落ち着くまでには、会員の皆様にも何かとご不便をお掛けすると思いますが、御支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

事務局長 小川鶴蔵

[2013 年 3 月 31 日 現在会員数]

名誉会員： 4 名

正 会 員： 972 名

学生会員： 99 名

合 計： 1, 089 名

賛助会員： 26 法人 (39 口)

応用生態工学会 第 17 回大阪大会 開催案内・参加申し込み

開催日時 平成 25 年 9 月 18 日 (水) ~21 日 (土)

日程: 9 月 18 日 (水) エクスカーション 場所: 淀川・大川 (①バスコース, ②船コース)
9 月 19 日 (木) 研究発表会 ポスター発表, 分科会, 自由集会
9 月 20 日 (金) 研究発表会 口頭発表, 分科会, 自由集会, 懇親会
9 月 21 日 (土) 総会 (午前), 公開シンポジウム (午後)

本大会は, 土木学会継続教育 (CPD) プログラム認定に申請中です。

参加申し込み (研究発表会・総会・エクスカーション)

参加申込書(裏面)に必要事項を記入の上, 右記へファックスして下さい。URL の申し込みフォームや, 同じ内容の E メールでも受け付けます。なお, 詳細は裏面をご参照ください。

申し込み締め切りは 2013 年 8 月 30 日 (金) 迄
振り込み締め切りは 2013 年 9 月 6 日 (金) 迄

●申し込みおよび問合せ先

応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5

麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520

公開シンポジウム「都市河川の自然再生と防災を考える」(どなたでも参加無料)

9 月 21 日 (土) 13:00 ~ 16:00

<開催主旨>

水都と呼ばれる多くの都市は, 河川とのかかわりの中で, 固有の特色ある地史・歴史・文化を育み, 河川の自然環境との共存を果たしてきました。しかし, 近代から現代の流域開発や河川改修によって, 都市河川の自然環境は, 劣化の一途をたどり, ました。その反省のもと, 韓国では清溪河, 日本では淀川や多摩川で, 自然再生事業が精力的に試みられてきました。一方, 河口デルタに成立している都市は洪水・高潮・津波に弱く, 東日本大震災では大きな被害を受けました。今後, 東海・南海・東南海地震による大規模な被害が予測される太平洋沿岸域では, 防災と自然環境の保全・再生を両立させる科学技術の確立が急務となっています。本シンポジウムでは, この両立をめざした課題整理と政策提言を目指します。





懇親会参加料 一律5,000円（申し込みは参加申し込みとあわせてお願いします）

参加料振込先（研究発表会・懇親会・エクスカーショ）

郵便振替口座

口座番号:00140-7-404275

口座名称:応用生態工学会

銀行振込口座

銀行名 :東京三菱銀行麹町中央支店

口座番号:(普通)1302920

[口座名称]応用生態工学会（オウヨウセイタイコウガクカイ）

参加申込書（研究発表会・懇親会・エクスカーショ）

FAX 宛先 03-5216-8520 E-mail: osaka_17th@ecesj.com

URL: http://www.ecesj.com/J/events/annual/17th_meet/17th_meet.html

(フリガナ) 氏 名			正・学会会員No	
所 属			賛助会員No	
連絡先 (自宅・所属) いずれかに○	〒 ー 住所 TEL: FAX: E-mail:			
参加申込			参加料(いずれかにチェック)	
エクスカーショ※	①バスコース 9月18日(水)11:00~17:00	参加・不参加	☐ 会 員(3,000円)	☐ 学生会 員(1,500円)
			☐ 非会員(4,500円)	☐ 学生非会員(1,500円)
	②船コース 9月18日(水)16:00~18:00	参加・不参加	☐ 会 員(3,000円)	☐ 学生会 員(1,500円)
			☐ 非会員(4,500円)	☐ 学生非会員(1,500円)
研究発表会	9月19日(木)9:30~17:40、 9月20日(金)9:30~17:00	参加・不参加	☐ 会 員(6,000円)	☐ 学生会 員(3,000円)
			☐ 非会員(10,000円)	☐ 学生非会員(3,000円)
	昼食の弁当	9月19日分	☐ 必 要(1,000円)・ ☐ 不 要	
		9月20日分	☐ 必 要(1,000円)・ ☐ 不 要	
	9月21日分	☐ 必 要(1,000円)・ ☐ 不 要		
懇親会	9月20日(金)17:30~20:00	参加・不参加	一律 5,000円	
参加料の合計			合計 円	
申し入れ事項	請求書を希望する方は、「請求書希望」と記載してください。			

※①バスコースと②船コースの両方に参加される方は、16時に②船コースの集合場所で乗り換えていただきます。